

# 不正リスク管理の実践 ～海外にも通用する不正対策～

～「海外子会社・海外 M&A の不正リスク対策」「電子メール監査・調査」の実践方法のほか、「製品データ偽装の不正リスク対策」も解説！

【開催要領】 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせていただきます。

日時▶ 2018年 6月14日(木) 10:00～17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム(東京: 麹町)

## 【ご参加頂きたい方】

- ・法務部門、総務部門、監査部門、経営企画部門、人事部門などのご担当者、管理職の方
- ・リスク管理体制、コンプライアンス体制構築のご担当者、グループ管理部門のご担当者

講師 (株)KPMG FAS フォレンジック部門所属  
マネージングディレクター(公認会計士) 林穂 氏

講師 (株)KPMG FAS フォレンジック部門所属  
シニアマネージャー 佐野智康 氏

講師紹介  
中央大学商学部会計学科卒業。1991年に朝日新和会計社(現あずさ監査法人)入所以来、会計監査を中心に、様々な企業の内部管理体制に関する業務に従事。1999年から本格的に「リスクマネジメント」、「コンプライアンス」、「内部監査」等を中心とした支援業務に多数従事。不正リスク管理を含むコンプライアンス体制の構築支援等に関する支援業務の実績は多数。あずさ監査法人、KPMG ビジネスアシスタンス㈱・KPMG ビジネスアドバイザリー㈱での勤務を経て、現在、㈱KPMG FASのフォレンジック部門に勤務し、海外贈賄リスク対応を含むグローバルリスク管理、海外事業管理のほか、不正リスクマネジメント体制構築の支援業務に従事。

講師紹介  
慶應義塾大学大学院理工学研究科卒。2006年に投資会社に入社し、投資先の選定・実行・投資後の管理業務に従事。2009年に㈱KPMG FASに入社し、フォレンジック部門にて不正会計・横領・インサイダー取引・外国公務員への贈賄・カルテル等に関する第三者委員会や社内調査における、不正調査や再発防止体制の構築支援に従事。現在、贈賄・カルテル等のグローバル・コンプライアンス体制の構築や、Eメール監査等の支援業務に従事。

【申込方法】 当会ホームページ (<https://www.bri.or.jp>) からお申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

受講料: 1名( 税込・昼食代含 ) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の使用方法(0発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員 41,040円 (本体価格 38,000円) 一般 45,360円 (本体価格 42,000円)

《事業コード: 181496-0303(※)》		不正リスク管理の実践 ～海外にも通用する不正対策～	
ふりがな 会社名			
住所			
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 属 職		
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当者宛E-mailからもお申込み頂けます。

後日(開催日1週間～10日前まで)に受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問 (FAQ) は当会HPにてご確認ください。(TOP)→[公開セミナー]→[よくあるご質問]

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail: [tamiaki@bri.or.jp](mailto:tamiaki@bri.or.jp)

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町M-SQUARE 2F

## .....プログラム.....

1. 総論ー積極的な不正リスク管理の重要性
  - 不正・不祥事とは何か/不正等の整理
  - 内部統制報告制度に係る期待ギャップ
  - 積極的な不正リスク管理の必要性/不正リスク管理プログラム
2. 統制環境のポイント
  - 経営者・管理者の役割、担当部署・責任者・担当者等の役割
  - 各種リスク報告・経営報告制度と「総括」の重要性
  - 行動規範・行動指針等の策定
  - 社内ルール遵守の徹底/法令遵守・法務リスク管理の徹底
  - 人事評価・業績評価/懲罰基準の整備と運用
  - 教育研修・周知徹底策/コミュニケーション・風通しの重要性
3. リスク評価と予防的コントロール機能のポイント
  - リスク評価のポイント/典型的なコントロール手続
  - セッション方式によるグループワーク/不正リスク評価の演習
  - 原因分析による予防的コントロールの設計
4. 発見的コントロール・モニタリング機能のポイント
  - 発見的コントロール・モニタリングの重要性/様々なモニタリング形態
  - モニタリング指標(リスク感度指標)の活用
  - CAAT・データ活用による自己点検・内部監査・内部統制評価
  - 内部通報制度の運用
  - 従業員アンケート調査
5. 不正・不祥事の発生時の対応のポイント
  - 不正・不祥事の疑義発生時・発覚時の調査、第三者委員会の設置
  - 調査を円滑にするための環境整備
  - 海外法令違反を踏まえた不法行為発覚時対応の注意点
6. 電子メール監査の実務のポイント
  - 電子メール監査(調査)が有効な場面、分類と特徴
  - 電子メール監査の準備・実施等の実務上のポイント、手順と実務事例
7. 最新トピックス～海外M&A・製品データ偽装～
  - 海外M&Aにおける不正リスク対応とPMIにおける取組の重要性(経済産業省「我が国企業による海外M&A研究会」報告書の補足解説にも言及)
  - 海外グループ管理における不正リスク管理のポイント
  - 製品データ偽装の背景と必要となる取組み
8. 最後にー全体最適に向けた内部統制の再設計の必要性

### ■開催にあたって■

上場企業は、財務報告の内部統制報告制度への対応に取り組んでいるのに、多くの不正事例が明るみになっています。また、日本企業の海外事業の拡大に伴い、海外グループ会社での不正事例も増えています。

そこで、本講座では、海外にも通用する実践的な不正リスク管理の取組事例を解説します。特に、不正リスク管理に有効な統制環境・予防的コントロール・発見的コントロール・モニタリング機能の向上のための実践的な実務ノウハウを紹介・解説します。その上で、海外グループ管理の向上にもつながる海外での不正リスク管理の実践のためのポイントや、実際に不正・不祥事が発生した場合における対応実務のポイントを解説します。

さらに、電子メール監査の実務のほか、最近、注目を浴びている海外M&Aや製品データ偽装についても解説します。

最後に、今後の内部統制関連活動が形骸化しないよう、全体最適の観点から各種のPDCA活動の仕組みの再構築の必要性、海外M&A・PMIを含む海外グループ管理における不正リスク管理の最先端の実務事例についても解説します。

※コンサルタント業など講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせていただきます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで2種類のセミナーをご案内しております。